

令和6（2024）年度

新潟県文化財年報

新潟県文化課

I 文化財保護行政の現状と課題

- 1 指定文化財 1
 - (1) 国・県の文化財の指定等について
 - (2) 民俗文化財調査事業について
 - (3) 保存修理事業等について
 - (4) 令和6年能登半島地震の被災文化財に係る文化財ドクター派遣事業及び災害復旧事業について
 - (5) 文化資源活用推進事業
 - (6) 今後の課題と展望
- 2 埋蔵文化財 4
 - (1) 各種届出・通知
 - (2) 文化財認定と譲与
 - (3) 埋蔵文化財保護体制
 - (4) 普及啓発事業
 - (5) 発掘調査の成果
 - (6) 課題と展望
- 3 世界遺産「佐渡島の金山」 7
 - (1) 登録までの取組について
 - (2) 構成資産の保存・活用・整備について
 - (3) 世界遺産登録前後における気運醸成と体制構築の取組について

II 事業概要

- 1 研修等事業 10
 - (1) 市町村文化財担当職員等基礎研修会
 - (2) 国・県・市町村関係機関埋蔵文化財取扱説明会
 - (3) 文化財保存活用講習会
 - (4) 市町村等埋蔵文化財担当専門職員実務研修
- 2 普及啓発事業 13
 - (1) 令和6年度新潟県埋蔵文化財公開活用事業
 - ① 新潟県埋蔵文化財センターでの講演会・講座
 - ② 第28回遺跡発掘調査報告会
 - ③ 体験学習
 - ④ 新潟県埋蔵文化財センターでの企画展
 - ⑤ 新潟県埋蔵文化財センター出張展示『One Case Museum』
 - ⑥ 広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の発行
 - ⑦ 出前授業・出前講座
 - ⑧ 国・県指定等一斉公開事業
 - (2) 文化財交流拡大事業
 - ① テーマ展示
 - ② シンポジウム
 - ③ 記念講演会

(3) 文化・観光魅力発信事業	
(4) 地域文化創造・発信事業	
(5) 新潟県埋蔵文化財センター	
① 入館者数の内訳と推移	
② 学校教育での利用	
③ 展示内容	
④ 来館者アンケート	
(6) 埋蔵文化財等の貸出	
3 分布・試掘確認調査事業	25
(1) 概要	
(2) 調査位置図	

Ⅲ 統計資料

1 指定文化財（令和6年度指定・登録）	26
(1) 国・県指定等文化財一覧	
(2) 国指定文化財	
① 史跡名勝天然記念物	
② 重要伝統的建造物群保存地区	
(3) 県指定文化財、県選定保存技術	
① 県指定有形文化財	
② 選定保存技術	
(4) 登録文化財	
2 文化財保全整備事業	33
(1) 国庫補助事業	
① 県事業	
② 市町村等事業	
(2) 県単費事業	
3 指定等文化財現状変更	37
(1) 有形文化財、記念物、文化的景観・伝統的建造物群保存地区の現状変更件数	
(2) 現状変更の概要（令和6年度分）	
① 記念物（史跡）	
② 記念物（名勝）	
③ 記念物（天然記念物）	
④ 記念物（名勝及び天然記念物）	
⑤ 記念物（天然記念物及び名勝）	
⑥ 重要文化的景観	
4 埋蔵文化財	47
(1) グラフで見る新潟県の発掘調査状況	
① 年度別発掘届出等件数の推移	
② 年度別発掘届出等件数対前年度増加量	
③ 年度別緊急発掘調査費用の推移	

④ 年度別緊急発掘調査費用対前年度増加率	
⑤ 開発に伴う試掘確認調査の事業種別費用（令和6年度）	
⑥ 開発に伴う本発掘調査の事業種別費用（令和6年度）	
⑦ 開発に伴う試掘確認調査の事業原因者別費用（令和6年度）	
⑧ 開発に伴う本発掘調査の事業原因者別費用（令和6年度）	
(2) 開発事業別発掘調査届出件数	
① 土木工事の届出（通知）件数	
② 発掘調査の届出（通知）件数	
(3) 内容別発掘調査届出件数	
① 開発に伴う届出内容（令和6年度）	
② 発掘調査の届出内容（令和6年度）	
(4) 埋蔵文化財鑑査認定件数	
(5) 市町村別発掘届出件数	
5 本発掘調査一覧（令和6年度実施分）	54
6 試掘確認調査一覧（令和6年度実施分）	55
7 学術調査一覧（令和6年度実施分）	59
8 市町村別専門職員配置状況	60
9 市町村別遺跡数一覧	61
10 市町村別県帰属埋蔵文化財認定件数と出土品箱数	62
11 市町村別県帰属埋蔵文化財譲与数	63
12 帰属文化財（県発見分）の譲与一覧	63
IV 令和6年度受贈図書	64

I 文化財保護行政の現状と課題

1 指定文化財

(1) 国・県の文化財の指定等について

令和6年度は、7月28日に「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたのをはじめ、国文化財の指定等では、重要伝統的建造物群保存地区に「佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区」が選定されたほか、史跡「松本街道」において「山口番所跡」が追加指定となった。

県文化財では、新たに有形文化財（古文書）に「越後国石井庄寄人庄子解」（新潟県所蔵）を、有形文化財（考古資料）に「鍋屋町遺跡出土品」（上越市・柏崎市・個人所蔵）をそれぞれ指定した。また、選定保存技術「屋根葺（茅葺）」の保持者として樋口隆氏を追加認定した。

国登録文化財については、「旧割烹有明表棟」・「同中棟」・「同奥棟」（新潟市）や「川俣家住宅（旧渋谷家住宅）長屋門」（三条市）、「渡部家住宅主屋」・「同納屋」（阿賀町）など、建造物6件が新たに登録され、登録有形文化財（建造物）の登録件数は574件となった。

このほか、12月には「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本酒の酒蔵数が日本一の本県においても、こうじ菌を使った伝統的な酒造りが再認識される契機となった。

(2) 民俗文化財調査事業について

県内の伝統的な祭り・行事を把握するとともに、主要なものについて現況を調査することにより、今後の文化財指定や保護施策立案の基礎資料とするため、令和6年度から3年計画で「新潟県祭り・行事総合調査」を実施する。令和6年度は、文献等から祭り・行事を把握し、調査票を作成する基礎調査を実施した。

(3) 保存修理事業等について

令和6年度は、国指定文化財では、重要文化財（建造物）「星名家住宅」（十日町市）など15件を対象とした指定文化財管理事業（防災設備点検、小修理等）や、ユネスコ無形文化遺産 小千谷縮・越後上布（小千谷市・南魚沼市）の原料製作技術保存事業を支援した。また、県指定文化財では、有形文化財（建造物）「大日堂」（佐渡市）や有形民俗文化財「佐渡大膳神社能舞台」（佐渡市）の茅葺屋根修繕等4件について支援した。

(4) 令和6年能登半島地震の被災文化財に係る文化財ドクター派遣事業及び災害復旧事業について

令和6年能登半島地震では、県内の文化財にも多数の被害が発生した。県では、新潟市・上越市からの依頼を受け、令和6年3月に文化庁に「文化財ドクター派遣事業」を依頼し、令和6年度に事務局の文化財防災センターや協力団体（日本建築学会、公益社団法人新潟県建築士会等）所属の建築士から成るドクターチームにより、歴史的建造物やこれらが面的に残る地区の被害調査が実施され、文化財所有者の復旧・継承への後押しや行政と協力団体の連携基盤の構築につながった。

被災文化財の災害復旧事業は令和6年春から本格化し、県では、重要文化財「旧笹川家住宅」（新潟市）や県指定有形文化財（建造物）「市島家住宅」（新発田市）、県指定有形民俗文化財「佐渡牛尾神社能舞台」（佐渡市）の復旧を支援した。また、被害の7割を占める国登録有形文化財（建造物）の復旧を支援するため、新たに補助制度を創設し、「旧酢屋呉服店店舗兼主屋」（上越市）など15件の復旧を支援した。

(5) 文化資源活用推進事業

文化財の継承や地域活性化、交流人口の拡大を図るため、県内の多様な文化資源の魅力を県内外に発信したほか、文化財に親しんでいただく事業の実施や支援を行った。

文化財を地域総がかりで継承していく機運を醸成するため、市町村や文化財所有者等と連携して、「にいがた秋の文化財一斉公開2024」を開催し、県民が文化財に親しむ機会を提供した。本事業では、県が所有する重要文化財「新潟県議会旧議事堂」（新潟県政記念館）の修理現場を初めて公開した。

また、県内外に向けて新たな文化観光を提案する「文化・観光魅力発信事業」は、3年計画の最終事業年度に当たり、新発田・村上及び長岡エリアの文化資源の掘り起こしやガイドブック・PR動画等の制作を行い、銀座・新潟情報館「THE NIIGATA」で文化体験・食・酒に関するイベントを開催した。

このほか、市町村や文化団体等が行う、地域で受け継がれてきた文化資源を活用した交流人口拡大に資する事業を支援する「文化活動推進事業(交流拡大枠)」では、宵乃舞実行委員会（佐渡市）など7団体を支援した。

(6) 今後の課題と展望

県内には、国・県・市町村の指定等を受けた文化財だけでも約3,700件あるが、少子高齢化・過疎化により継承の危機にあるものや、所有者の世代交代や経済的な理由から、適切な維持管理や周期的な修理ができない事案が散見される。郷土の貴重な宝である文化財を確実に継承していくためには、文化財の調査・研究に基づく保存・活用のサイクル（把握、周知、保存、活用）の構築が必要である。

「把握」では、各文化財類型について計画的に調査を実施し、その成果を文化財指定や文化財保護施策立案、市町村による文化財保存活用地域計画作成、活用事業等に活かしていくことが重要である。

「周知」では、まず県民から地域の文化財の存在や価値を知ってもらい、親しんでもらうことが第一歩となる。今後も、文化財の公開・活用事業等を通じて、県民への情報発信や文化財に親しむ機会の提供を継続することにより、文化財を地域総がかりで継承していく機運の醸成を図っていきたい。

「保存」では、適切な維持管理や周期的な修理、継承活動の継続が重要である。今後も文化財保護指導委員による経過観察を継続するとともに、研修会の開催や補助金の交付等を通じて、所有者や管理者が文化財を適切に管理し、周期的な修理や継承活動が継続できるよう支援していく。また、近年多発する地震や豪雨などの災害に備え、災害時の被害調査や文化財レスキュー活動における県内自治体や関係団体等の連携体制構築を図り、文化財防災の周知を図ることが必要である。

「活用」では、文化財の顕在化を図り、県民が親しむ機会を提供することで、文化財への興味・関心を喚起し、理解を深めてもらうとともに、担い手の確保を図ることが望まれる。また、文化財をまちづくりや地域振興、観光などに活かすことで、その収益を文化財の保存に充当していく好循環の構築が期待されている。今後も市町村や文化財所有者等と連携して、文化財の多様な活用に挑戦し、地域振興や文化観光の推進につなげていきたい。

2 埋蔵文化財

(1) 各種届出・通知

令和6年度の文化財保護法（以下「法」という。）の規定に関する各種届出・通知（以下「届出等」という。）のうち、土木工事及び発掘調査の状況は以下のとおりである。

① 土木工事（P.47～53 参照）

令和6年度の土木工事届出等の件数は438件（法第93・94条総数）であり、前年度から34件減（減少率7.2%）であった。公共事業（法第94条通知、以下「通知」という。）が178件で5件増（増加率2.8%）、民間開発（法第93条届出、以下「届出」という。）は260件で、39件減（減少率13.0%）であった。

開発種別では、通知は農業関連48件、電気ガス水道57件、道路45件で通知件数全体の84.2%を占め、届出は個人住宅120件、電気・ガス・水道58件で届出件数全体の68.4%を占める。令和6年度の届出等数は、個人住宅が最多となった。

指示の内訳は、通知で発掘調査17件、工事立会129件、慎重工事29件、その他3件、届出ではそれぞれ3件、140件、112件、5件である。

② 試掘確認・本発掘調査（P.54～59 参照）

発掘調査届出件数に基づくと、令和6年度は試掘・確認調査199（令和5年度206）件、本発掘調査17（同19）件、法第92条に基づく調査9（同8）件の、全体で225（同231）件の調査が行われ、全体で6件減（減少率2.7%）である。

調査原因としては、道路、農業関連、住宅・宅地が多いが、住宅・宅地は、試掘・確認調査において遺跡が発見されたとしても工法の変更等により遺跡を保護し本発掘調査を回避している。試掘・確認調査から本発掘調査にいたる事案の割合は道路関係が最も高い。

(2) 文化財認定と譲与（p.62～63 参照）

令和6年度の文化財認定件数は97件であり、前年度から36件減少した。発見者区分は県が15件、市町村が81件、島崎川流域遺跡調査団1件である。埋蔵文化財は、遺物発見届が警察に受理されてから6か月間の公告期間を経て県の帰属となるが、県では、地域の文化財は地域で守り活用するという理念のもと、地元市町村への譲与を進めている。県発見出土文化財についても、県としての活用を計画しながら市町村の要望に対応していきたい。

出土品の保管・管理体制の整備は今後の重要な課題である。中でも有機質遺物や金属製遺物は、理化学的な保存処理を行わないと腐朽する恐れがあり、処理後も温湿度管理可能な場所で保管及び管理する必要がある。適切な保管・管理は文化財保護の基本であり、活用の前提であるとの認識のもと、所有者である地方公共団体が責任を持って取り組む必要がある。

(3) 埋蔵文化財保護体制 (p. 60 参照)

県内の埋蔵文化財専門職員数(文化財所管課に配置された正規職員数(再任用職員含む))は、令和6年5月1日現在で県が20人(文化課配置及び(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団派遣)、市町村は81人(博物館配置及び他課へ異動した職員は除く)である。専門職員配置市町村数は24、配置率は80.0%(24/30)となり、全体としては前年度より1町村減(他課への異動・退職などによる)であるが、新規職員を採用した市町村が複数あり、個々の自治体では新しい世代の人材確保が進む傾向がうかがえる。また、本県における農業基盤整備事業数は減少することなく対応に苦慮する市町村が多い一方、発掘調査成果を公開・活用する取組が各自治体で進められており、埋蔵文化財への興味・関心を醸成する機運が一層広がりつつある。

(4) 普及啓発事業

文化課では、新潟大学附属図書館での展示や広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の刊行、高校生向け出前授業を実施した。また、令和6年度は、フォッサマグナでつながる中央日本四県(静岡、長野、山梨・新潟県)が連携して、「山の洲文化財交流事業」として企画展示・講演会等を実施した。

そのほか、新潟県埋蔵文化財センターでは、常設展示・企画展示や講演会の実施、小中学校等の校外授業の受入れに加え、キッズ考古学教室などの体験学習や、HPやSNS等による情報発信を実施した。入館者は16,566人(37人増)で、新型コロナウイルス感染拡大以前と同等の人数となった。引き続き発掘調査成果を広く公開・活用していくとともに、魅力的な活用メニューの実施、効果的な広報に努めていく。

(5) 発掘調査の成果

令和6年度の発掘調査においても重要な成果が得られた。

燕市の石港遺跡(古墳時代)は令和4年度から続く第3次調査で、古墳時代前期から後期まで途切れることなく継続していることを確認した。古墳時代前期の土器では東海・畿内・山陰など遠隔地域の特徴をもつものが多数出土し、遠隔地域との活発な交流がうかがえる。自然流路を巧みに取

り込んだ集落で、有力者層の居住域であった可能性が想定されている。

佐渡市のロヶ坪遺跡（平安時代：9世紀代）では、国府川と大野川に挟まれた扇状地で掘立柱建物、井戸、土坑、旧河川等を検出した。注目されるのは、河川の両岸で掘立柱建物を確認し、その周辺では石組や木枠を有する井戸2基が伴うことや、大量の須恵器・土師器とともに墨書土器が定量出土したことで、地域の物流や開発に関わる拠点的な遺跡として位置づけられている。また遺構は検出されていないが、旧河川の下層を中心に古墳時代中期～後期の土器や滑石製勾玉が出土しているほか、溝からは天文21（1552）年銘のある墨書供養碑も出土している。

長岡市の長岡城跡（江戸時代：17世紀後半）では、近世の遺物を含む土坑や堀跡を検出した。堀跡は三の丸北側の堀で、絵図面から想定される堀の位置とほぼ一致する。堀跡内や周辺の土坑等から17世紀後半中心の陶磁器が出土した。そのほかには漆器や木簡、礎石等が出土している。

（6）課題と展望

土木工事の届出・通知（法93・94条）件数は、計438件で前年度比34件減となったが、過去5年は450件前後で推移しており、ほぼ横ばいを維持している。また、試掘・確認調査件数は199件で前年度比7件減、開発に伴う本発掘調査は17件で前年度比2件減であり、届出・通知と同様に大きな変化はない。緊急調査（法99条）の原因については、昨年度は農業関連が最も多かったが、令和6年度は宅地開発と順位が入れ替わった。上記2（3）で触れたとおり、今年度は埋蔵文化財専門職を新規採用する市町村が増加した。現役専門職員の中心年齢層を構成する50歳後半世代の定年退職を見据えて、計画的な職員採用と人材育成の仕組み作りなどを進める必要がある。

県が実施する普及・啓発、研修等事業では、前年度同様、市町村の協力の下、各種の取組を行った。オンラインでの開催を併用することで、遠隔地域からも参加しやすくなるよう計画している。普及・啓発事業等による埋蔵文化財の活用は、一般県民の遺跡・遺物に対する関心を高めるとともに、開発事業者との協議を円滑に進めるためにも重要である。引き続き、発掘調査等による開発への対応とともに、埋蔵文化財の価値と魅力を分かりやすく広く伝えることが求められている。

県としては、開発部局向けに埋蔵文化財取扱説明会を開催し、埋蔵文化財保護の仕組みと必要な手続きについて引き続き周知を図るとともに、市町村の文化財専門職員を対象とした実務研修会において、様々な課題について広く情報共有し、一緒に考える場を設けていきたい。

3 世界遺産「佐渡島の金山」

(1) 登録までの取組について

佐渡金銀山の世界文化遺産登録に向けた取組は、平成 18 年から県と佐渡市が協同で進め、県は平成 19 年度に教育庁文化行政課に世界遺産登録推進室を設置し、順次体制を強化しながら、令和 6 年度は 12 名（室長・連携調整担当 2 名・総務企画担当 4 名・調査研究担当 5 名）体制で、佐渡市世界遺産推進課（課長・補佐・世界遺産保存係 6 名・登録推進係 2 名）と役割分担しながら各種事業を行ってきた。

平成 22 年に暫定一覧表への記載後、関連分野の専門家で構成する「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」を設置し、ユネスコへ提出する推薦書案の検討・作成を進めてきた。委員に加え、世界遺産及び産業遺産の海外専門家も招聘し、文化庁の指導・助言を受けながら世界遺産としての価値の証明や構成資産の選択等の議論を深めてきた。

令和 4 年 2 月にユネスコに提出された「佐渡島の金山」推薦書は、ユネスコによる形式審査で記述の一部に十分ではない点があると判断されたため、県は市と共に国に協力して推薦書の改訂作業を行い、令和 5 年 1 月に推薦書がユネスコに改めて提出された。形式審査を経て、諮問機関のイコモスに推薦書が送付され、学術的な見地からの審査が開始された。令和 5 年 8 月 24 日～30 日にはイコモスによる現地調査が行われ、資産の保全状況等が確認された。その後、イコモスから補足情報を求める中間報告等が行われ、要請された情報は令和 6 年 2 月末までに提出され、イコモスによる審査への対応は終了した。

その後、令和 6 年 6 月 6 日には、イコモスによる評価結果及び勧告が示された。記載についての勧告は「情報照会」であり、追加情報として①北沢地区を資産範囲から除外すること、②相川鶴子金銀山の緩衝地帯範囲を沖合に拡張させること、③鉱業権の所有者が、推薦資産又は緩衝地帯の範囲内において商業採掘を再開しない明確な約束を示すことの 3 点が要請された。

県と市では国と対応を協議し、令和 6 年 7 月にインドのニューデリーで開催される第 46 回世界遺産委員会で世界遺産登録が決議されるよう、3 点の追加情報の要請に応えるため関係機関等と調整を行った。その結果、いずれもイコモスの指摘どおりの対応が可能となったため、世界遺産委員会の開催前にユネスコ世界遺産委員会事務局に追加情報を提出した。

世界遺産委員会では、日本がイコモスからの追加情報に対応したことから、「情報照会」から「世界遺産一覧表への記載」とする修正案がブリガリアから提示された。令和 6 年 7 月 27 日の審議の結果、修正案のとおり決議

され、全会一致で「佐渡島の金山」の世界文化遺産への登録が決定した。

(2) 構成資産の保存・活用・整備について

構成資産及び「佐渡島の金山」に関連する文化財を確実に保存し、活用するため、佐渡市が令和元年度に策定した整備計画に基づき実施する事業を支援した。

令和6年度は、金子勘三郎家等の保存修理、上相川地区・鶴子地区の解説サイン製作設置事業、佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」のデジタルサイネージ追加・展示グラフィック製作・設置等の事業を支援した。

(3) 世界遺産登録前後における気運醸成と体制構築の取組について

「佐渡島の金山」の世界的価値や世界遺産登録活動についての理解促進と全県的な気運醸成を図るため、「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」の活動の輪を広げるとともに、各種イベントの開催等を通じて、県内外への情報発信・普及啓発に努めた。

登録推進県民会議の会員団体数は、発足時（平成26年2月）の789団体から1,464団体（令和7年3月末段階）まで拡大し、各団体において現地での景観保全ボランティアなど様々な取組が行われているほか、民間支援団体「佐渡を世界遺産にする新潟の会」（現：「佐渡島の金山」を学ぶ会）の協力の下、小中学校向けの「佐渡金銀山出前授業」を展開した。

また、6月22日には朱鷺メッセマリンホールで県民会議を開催し、約300名が参加した。外部講師による講演や民間団体による活動事例紹介を通じて「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けた機運の醸成と、登録を契機とした持続可能な資産の保全や地域価値の向上への取組が共有された。

「佐渡島の金山」の歴史的価値を発信する事業として、新潟市・長岡市・上越市と連携した講座を3回実施して文化遺産としての歴史的価値の発信に努めるとともに、会員企業・団体などと連携した普及啓発や、県内外のショッピングモールや観光施設でのPRイベントなど、様々な形で「佐渡島の金山」の認知度向上を図った。

令和6年7月27日には第46回ユネスコ世界遺産委員会の様子を見守るパブリックビューイングを新潟市（新潟日報メディアシップ）、佐渡市（きらりうむ佐渡・佐渡市役所）、首都圏（東京新潟県人会館）の3会場で開催し、多くの関係者・参加者が登録の喜びを共有した。また、令和7年2月13日には、世界遺産登録記念フォーラムを大阪歴史博物館で開催し、163名が参加した。「佐渡島の金山」の価値を改めて紹介するとともに、佐渡・新潟・大阪の歴史的つながりを切り口に、各地域の世界遺産をはじめとす

る文化財の魅力を発信した。

世界遺産登録後は、資産の保護に関する方針や具体的な方法、管理体制を定めた「佐渡島の金山」包括的保存管理計画に移行するとともに、資産の保存活用を推進するため、令和6年12月1日には下記の会議体をそれぞれ設置した。

- ・「佐渡島の金山」世界遺産会議：「佐渡島の金山」の保存管理及び整備活用並びにその周辺環境の保全を推進する。
- ・「佐渡島の金山」世界遺産会議作業部会：資産・緩衝地帯内及びその周辺で計画された事業の遺産影響評価で、顕著な普遍的価値に影響が及ぶ可能性がある事業に関して、詳細な検討を行う。
- ・「佐渡島の金山」包括的保存管理計画アクションプラン会議：事業主体者等が実施する取組に関する進捗管理を行う。
- ・「佐渡島の金山」世界文化遺産学術委員会：専門的・学術的見地から、保存管理及び整備活用に関する事項、ユネスコへの提出が必要な定期報告書等に関する事項、資産の保存管理及び活用に関する事項等に意見を述べる。

II 事業概要

1 研修等事業

(1) 市町村文化財担当職員等基礎研修会

○期 日 令和6年5月24日(金) オンライン開催

○参加者 市町村文化関係事務担当 19人

○内 容

【研修Ⅰ】文化財の概要及び文化財保護行政の現状

1 文化財保護法と文化財の概要

2 文化財行政の現状

【研修Ⅱ】各文化財類型の概要

3 有形文化財(建造物)

4 有形文化財(美術工芸品)

5 民俗文化財

6 無形文化財

7 記念物(史跡・名勝・天然記念物)

8 文化的景観

9 伝統的建造物群

10 埋蔵文化財

11 選定保存技術

【研修Ⅲ】補助金事務について

12 国・県補助金の概要

13 国・県補助金の留意事項

【研修Ⅳ】その他

14 「歴史まちづくり法」について(土木部都市局都市政策課)

(2) 国・県・市町村関係機関埋蔵文化財取扱説明会

【第1回】

○期 日・会 場 令和6年7月18日(木) オンライン開催

○対象・参加者 国・県及び市町村の開発担当部署の職員

オンライン参加: 71人

○内 容

「新潟県における埋蔵文化財保護行政の現状と課題」

「開発と埋蔵文化財の取扱いについて」

「埋蔵文化財の活用について」

「国・県指定史跡・名勝・天然記念物の現状変更等について」

【第2回】

○期 日・会 場 令和6年7月26日(金) オンライン開催

○対象・参加者 国・県及び市町村の開発担当部署の職員

オンライン参加: 58人

○内 容

- 「各種基準の作成経緯、新潟県における行政目的で行う埋蔵文化財発掘調査」
「発掘調査の要否等の判断基準」
「埋蔵文化財の本発掘調査に関する積算基準」

(3) 文化財保存活用講習会

- 期 日 令和6年10月10日(木) オンライン開催
○参加者 市町村文化財担当者、文化財保護の指導的立場にある者、
その他文化財保護に関心のある者 47人
○テーマ 美術工芸品の適切な維持管理・保管方法と防災・防犯対策
○内 容

講演1 「文化財の保存環境について」

独立行政法人 国立文化財機構 文化財活用センター 主任研究員 間瀬 創 氏

講演2 「美術工芸品の防災・防犯対策」

独立行政法人 国立文化財機構 文化財防災センター 研究員 黄川田 翔 氏

講演3 「新潟県における文化財レスキュー-県立歴史博物館の活動を中心に-」
新潟県立博物館 学芸課 専門研究員 田邊 幹 氏

(4) 市町村等埋蔵文化財担当専門職員実務研修

【第1回】

- 期 日・会 場 令和6年12月13日(金) 新潟県埋蔵文化財センター研修室
○対 象・参加者 市町村等埋蔵文化財担当専門職員・民間発掘会社職員 30人
○内 容 講義1 「遺物写真撮影の考え方」
講義2 「ライティングの効果と撮影方法」
元新潟県埋蔵文化財調査事業団 田海 義正 氏

【第2回】

- 期 日・会 場 令和7年2月13日(木)・14日(金) 新潟県庁大会議室
○対 象・参加者 市町村等文化財担当職員 64人
○内 容

[1日目]

I 近年の文化財行政をめぐる動向

新潟県における埋蔵文化財保護行政の現状と課題

新潟県文化課埋蔵文化財係長 渡邊 裕之

開発に伴う埋蔵文化財の取扱い

新潟県文化課埋蔵文化財係専門調査員 山崎 忠良

補助金事務について 新潟県文化課埋蔵文化財係文化財調査員 荒木 清花

文化財認定・譲与、指定文化財の取扱い

新潟県文化課埋蔵文化財係文化財調査員 高尾 将矢

県営ほ場整備事業の動向について

新潟県農地部農地計画課副参事 伊藤 亮一・同農地整備課副参事 鈴木 雅也

II 埋蔵文化財に関する諸問題

基調講演 埋蔵文化財保護行政の現状と課題

文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門文化財調査官 芝 康次郎 氏

報告① ほ場整備事業に係る調整等について

燕市教育委員会社会教育課副参事 松島 悦子 氏

報告② 発掘調査現場における作業員教育「ミニ講座」の実践ーみんなで作
り上げる楽しい現場ー

(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団専門調査員 加藤 学 氏

報告③ 隣接県ブロック会議における動向について

新潟県文化課埋蔵文化財係専門調査員 山崎 忠良

[2日目]

III 文化財行政事務の留意点

文化資源の活用に関する現状と課題

新潟県文化課文化資源活用推進係長 三ツ井 朋子

天然記念物の取扱いと留意点

新潟県文化課文化資源活用係主任調査員 小野本 敦

[事例報告]コウノトリの営巣・孵化・巣立ちへの対応について

上越市教育委員会文化行政課主任 今井 晃 氏

有形文化財の取扱いと留意点

新潟県文化課文化資源活用推進係文化財調査員 堀 智貴

IV 能登半島地震に伴う文化財ドクター派遣事業の実施について

文化財ドクター派遣事業の概要

新潟県文化課文化資源活用推進係長 三ツ井 朋子

新潟市における文化財ドクター派遣事業について

新潟市文化スポーツ部歴史文化課主幹 小林 恵美子 氏

V 文化財保存・活用の取組事例

十日町市文化財保存活用地域計画の策定について

十日町市教育委員会文化財課主査 高橋 由美子 氏

新潟県の文化財保存・活用の取組

新潟県文化課文化資源活用係主任調査員 小野本 敦

「佐渡島の金山」世界遺産登録について

新潟県文化課世界遺産登録推進室長 澤田 敦

佐渡市観光振興部世界遺産推進課課長補佐 宇佐美 亮 氏

有形文化財の取扱いと留意点

新潟県文化課文化資源活用推進係文化財調査員 堀 智貴

VI 埋蔵文化財諸問題検討会

近世・近代の埋蔵文化財に関する県基準について他

2 普及啓発事業

(1) 令和6年度新潟県埋蔵文化財公開活用事業

近年話題となった遺跡や出土品をテーマに設定し、本県から出土した埋蔵文化財の活用を図り、県の成り立ちや特性を学ぶことができる各事業を実施した。

① 新潟県埋蔵文化財センターでの講演会・講座

新潟県埋蔵文化財センターにおいて、4月から11月に全6回の講演会を実施した。会場での定員は80人で、オンライン配信も実施した。全6回の会場参加者は155人、オンライン配信申込者は312人（県内148人、県外164人）であった。また、調査担当者が自ら発掘した遺跡の様子を、出土品とともにわかりやすく解説する講座を全2回実施した。会場参加者は計58人であった。

a 新潟県埋蔵文化財センター講演会

回	期日	会場	内容・講師	参加者
1	6月23日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「新潟・東北出土の唐三彩」 山口 博之 氏 (国際日本文化研究センター)	27人 ※ 配信 50人
2	7月28日 (日)		「古代の施釉陶磁器と流通」 春日 真実 氏 ((公財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団)	33人 ※ 配信 65人
3	8月18日 (日)		「中世の施釉陶磁器と流通」 水澤 幸一 氏 (中世考古学研究者)	30人 ※ 配信 75人
4	9月29日 (日)		「近世の施釉陶磁器と流通」 相羽 重徳 氏 (佐渡市世界遺産推進課)	17人 ※ 配信 33人
5	10月27日 (日)		「ジェンダー考古学(縄文編)」 宮尾 亨 氏 (新潟県立歴史博物館)	23人 ※ 配信 42人
6	11月24日 (日)		「近世新潟町出土の施釉陶磁器と北前船」 今井 さやか 氏 (新潟市文化財センター)	25人 ※ 配信 47人

b 発掘こぼれ話

回	期日	会場	内容・講師	参加者
1	1月22日 (水)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「私が掘った埋葬関連の遺構」 石川 智紀 氏 ((公財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団)	32人
2	2月14日 (水)		「ヒスイは焼いて加工したのか？」 荒川 隆史 氏 ((公財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団)	26人

② 第 28 回遺跡発掘調査報告会

午前中は、令和 6 年度調査成果報告として、(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団が令和 6 年度に発掘調査した遺跡のうち 8 遺跡の報告を行った。午後はシンポジウム「建物から見た縄文後期の上野遺跡」として、村上市上野遺跡の調査成果報告と講演、パネルディスカッションを行った。会場での定員は 80 人で、オンライン配信も実施した。

回	期 日	会 場	内 容・講 師	参加者
1	3 月 9 日(日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	第 28 回遺跡発掘調査報告会 ○令和 6 年度調査成果報告 …村上市上野遺跡、南魚沼市金屋遺跡・六日町藤塚遺跡、柏崎市丘江遺跡・山崎遺跡、上越市舘遺跡・堂古遺跡・二反割遺跡 ○シンポジウム「建物から見た縄文後期の上野遺跡」 ・「村上市上野遺跡の建物と集落」 加藤 学 氏・加藤 元康 氏((公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団) ・「縄文時代後期の集落と社会」 谷口 康浩 氏(國學院大學) ・パネルディスカッション	56 人 ※ 配 信 87 人

③ 体験学習(新潟県埋蔵文化財センターで実施)

a キッズ考古学教室

学年や地域が違う仲間たちと交流しながら、土器や石器などの遺物に触れ、様々な体験活動をとおして古代の人々の知恵や生活を学ぶことを目的として実施した。令和 6 年度も、全 3 回とおしての参加を条件に募集し、遺跡や歴史に興味がある小学 4 年生～小学 6 年生の 36 人が参加した。キッズ考古学教室参加者の作品は約 3 か月間展示した。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
1	7 月 7 日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「縄文時代はどんな時代? ー土器作り体験ー」	12 人
2	8 月 6 日 (火)	新潟県埋蔵文化財センター 村上市上野遺跡 縄文の里・朝日 (村上市岩崩)	「遺跡に行こう! ー発掘と石器作り体験ー」	12 人
3	10 月 6 日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「縄文人の技を体験しよう!	12 人

			－土器煮炊きと編み物体験 －」	
	7月30日 (火)～ 8月25日 (日)、12月 4日(水)～ 1月28日 (火)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「展示会」 3回の体験で作った土器・鏝・ アングイン編みコースター等を展 示。	－

b 大人向け体験会

令和6年度は、新潟県埋蔵文化財センターならではの仕事を体験し、本物の出土品を間近で観察する大人向けの体験会を平日に実施。体験会は全3回実施し、参加者は計34人であった。参加者の作品は鑑賞会・撮影会後に展示した。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
1	5月26日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター － (新潟市秋葉区金津)	人面墨書土器をつくろう (1)	6人
2	6月30日 (日)		人面墨書土器をつくろう (2)	4人
3	11月10日 (日)		幼児の手型・足型土版づくり	24人
	7月2日(火) ～7月28日 (日)、11月 12日(火)～ 12月2日(月)		「展示会」 大人向け体験会参加者の作品 を展示	

c まいぶん祭り

誰でも気軽に古代の道具に触れたり、体験したりする機会を提供することを目的に、複数のコーナーを設けた体験イベントを実施した。参加者は、計513人であった。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
1	6月2日 (日)	新潟県埋蔵文化財 センター	勾玉づくり、かりうち体験	205人
2	10月14日 (月・祝)	(新潟市秋葉区金 津)	勾玉づくり、アングイン編み、縄文土器 にさわろう等	308人

d 県指定有形文化財「五丁歩遺跡出土脚付土器」撮影会、写生・ぬり絵の会

「にいがた秋の文化財一斉公開」と連携して実施。参加者は、計9人であった。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
1	10 月 2 日 (水)	新潟県埋蔵文化財センター	撮影会	6 人
2	10 月 23 日 (水)	(新潟市秋葉区金津)	写生、ぬり絵	3 人

④ 新潟県埋蔵文化財センターでの企画展

回	期 日	会 場	内 容・講 師	見学者
1	4 月 20 日 (土) ~ 11 月 24 日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	企画展 1 『キラキラ☆施釉陶磁器の世界』 県内で出土した古代～近世の施釉陶磁器を展示。越後・佐渡に施釉陶磁器をもたらした日本海流通等について焦点をあてた。	11,697 人
2	1 月 18 日 (土) ~ 3 月 20 日 (木・祝)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	企画展 2 『発掘！新潟の遺跡 2024』 (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団が令和6年度に発掘調査・整理作業行った最新の成果を出土品と写真で解説。	2,379 人

⑤ 新潟県埋蔵文化財センター出張展示『One Case Museum』

新潟県埋蔵文化財センター所蔵品の出張展示を開催した。

回	期 日	会 場	内 容
1	令和6年10月～令和7年10月	新潟大学附属図書館 A 棟 2 階 (新潟市西区五十嵐 2 の町)	『弥生人のおとしもの』

⑥ 広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の発行

県内で行われる埋蔵文化財を活かしたイベントを集約したパンフレットを作成し、県民に広く周知した。また巻末特集として、春夏号では発掘調査報告書の特集記事を、秋冬号では分布調査についての特集記事を作成した。なお、秋冬号は、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことを記念する表紙とした。これらは、県内の文化施設等に設置し、観光パンフレットとして、また歴史学習の資料として活用された。

号	発行	内 容	部 数
春夏号	5 月	6～9月実施のイベントと特集	5,000 部
秋冬号	9 月	10～3月実施のイベントと特集	5,000 部

⑦ 出前授業・出前講座

a 高校生向け出前授業

県内の高等学校で、埋蔵文化財を通じた新潟県の歴史や、埋蔵文化財保護のしくみをわかりやすく解説した出前授業を2回実施した。合計参加者は115人。

回	期日	会場	内容	人数
1	9月2日(月) 9月5日(木)	県立新潟江南高校	甦る！新潟の古代荘園	111人
2	10月23日 (水)	県立新潟県央工業 高校	発掘調査から分かる縄文時代の住居建築	4人

⑧ 国・県指定等一斉公開事業

地域で文化財を継承する機運を醸成するため、県と市町村、文化財所有者・管理者等が連携して文化財を10月に一斉公開し、県民から身近な文化財に親しんでもらう機会を提供した。公開事業をまとめたガイドブックやポスター、チラシを県内の文化施設等に設置した。

○期 間 令和6年10月1日(火)～31日(木)

○会 場 県内各地

○参加事業 109事業

(2) 文化財交流拡大事業

「新潟県の石」に指定された翡翠に注目するとともに、世界文化遺産に登録された「佐渡島の金山」と地質学的な背景が共通する佐渡島の青玉石、赤玉石を取り上げ、「珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉」のタイトルでシンポジウムと展示、記念講演会を行った。

① テーマ展示

縄文時代の翡翠製玉類や弥生時代の青玉石・赤玉石を素材とした管玉を中心に、その地質学的背景の解説や新潟県内の縄文・弥生・古墳時代の玉類や装身具を展示。

期日	会場	内容	来場者
9月14日(土)～ 11月10日(日)	新潟県立歴史博物館 企画展示室	新潟の玉類と地質学的背景、貝製・土製を含む縄文・弥生時代の装身具の歴史、ヒスイ製玉類、管玉など	4,183人

② シンポジウム

ヒスイをはじめとする縄文時代の装身具研究者による基調報告と新潟、静岡、山梨、長野の四県の研究者による各県の玉類の報告、パネラーによるディスカッションを実施。

期日	会場	内容	来場者
9月16日(月)	新潟日報メディアシップ2F 日報ホール	ヒスイ大珠の流通や利用、各県の玉類の生産や流通から見た中央四県における交流	178人

③ 記念講演会

テーマ展示に伴う記念講演として、縄文時代の研究者による、縄文時代の玉類を含む装身具をテーマとした講演会を実施。

期日	会場	内容	来場者
10月20日(日)	新潟県立歴史博物館 講堂	高橋 龍三郎氏 「縄文社会における装身具」	70人

(3) 文化・観光魅力発信事業

観光コンテンツとして活用できる県内の文化資源の掘り起こしを行い、交流人口の拡大や地域の活性化につなげるため、新発田・村上エリアと長岡エリアの文化資源の情報発信を首都圏及び県内へ向けて行った。

- 特設サイト「NIIGATA Culture Tourism」や公式Instagramで情報発信
(フィード投稿10本、リール動画10本)
- PR動画の配信(新発田・村上エリア11.5万回再生、長岡エリア12.8万回再生)
- (公社)新潟県観光協会のHPでモデルコースの公開(方言・郷土料理・伝統芸能に関する各エリア計6コース)
- ハンドブックの配布(首都圏を中心に約10,000部を配布)
- 銀座・新潟情報館 THE NIIGATA での文化体験イベントの実施(2日間で約1,000人来場)

文化・観光魅力発信事業の情報発信計画

	エリア名	対象市町村
令和4年度	新潟・佐渡	新潟市・三条市・加茂市・燕市・五泉市・弥彦村・田上町・阿賀町・佐渡市
令和5年度	魚沼	魚沼市・南魚沼市・十日町市・湯沢町・津南町
	上越	上越市・糸魚川市・妙高市
令和6年度	新発田	新発田市・村上市・阿賀野市・胎内市・聖籠町・関川村・粟島浦村
	長岡	長岡市・柏崎市・小千谷市・見附市・出雲崎町・刈羽村

(4) 地域文化創造・発信事業

○目的 地域の文化に光を当て、「文化の宝もの」を再発見する契機にするとともに、県内の地域文化資源を広く収集し、新潟県の魅力として県内外へ発信した。

○事業概要 ポータルサイト「新潟文化物語」の管理運営

○事業内容 新潟の文化にまつわる特集記事の掲載（12件）（世界遺産登録に関連し佐渡の記事を集中的に掲載）

- ・新潟の文化を体験したレポート記事の掲載（4件）
- ・子ども向けのキッズページの拡充（コンテンツを10件追加し、内容を充実）
- ・県内まちあるきマップページの改修（リード文の修正や新規コンテンツの追加）

○「新潟文化物語」サイトのアクセス件数

アクセス件数：ページビュー（当該サイト内のページを閲覧した件数）

年度	件数	1日平均	件数対前年度比	X	FB	YT
令和6年度	351,607	963	132.3%	5,950	905	809

※X：年度末時点のXフォロワー数

※FB：年度末時点のFacebook「フォロワー」数

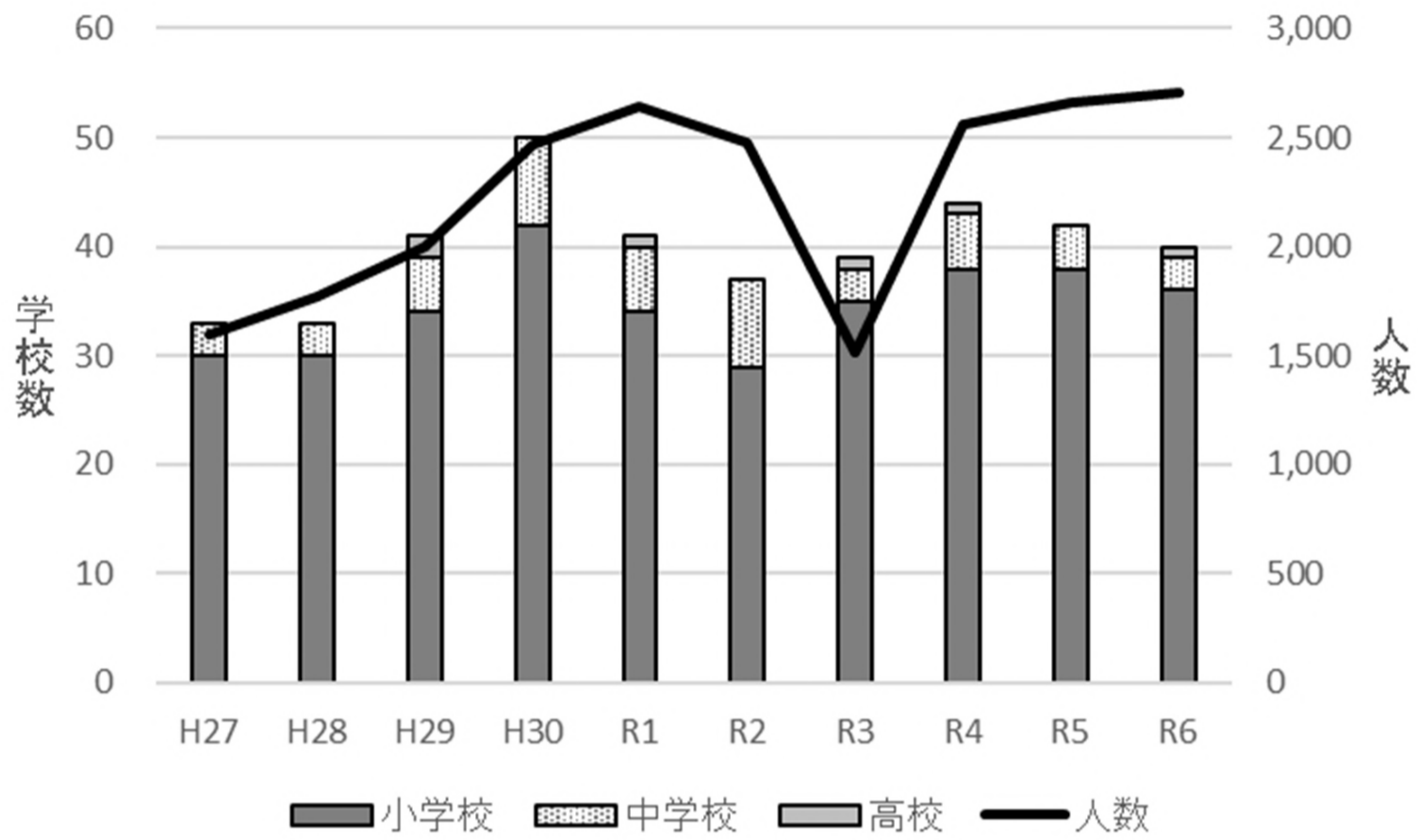
※YT：YouTubeのチャンネル登録者数

(5) 新潟県埋蔵文化財センター

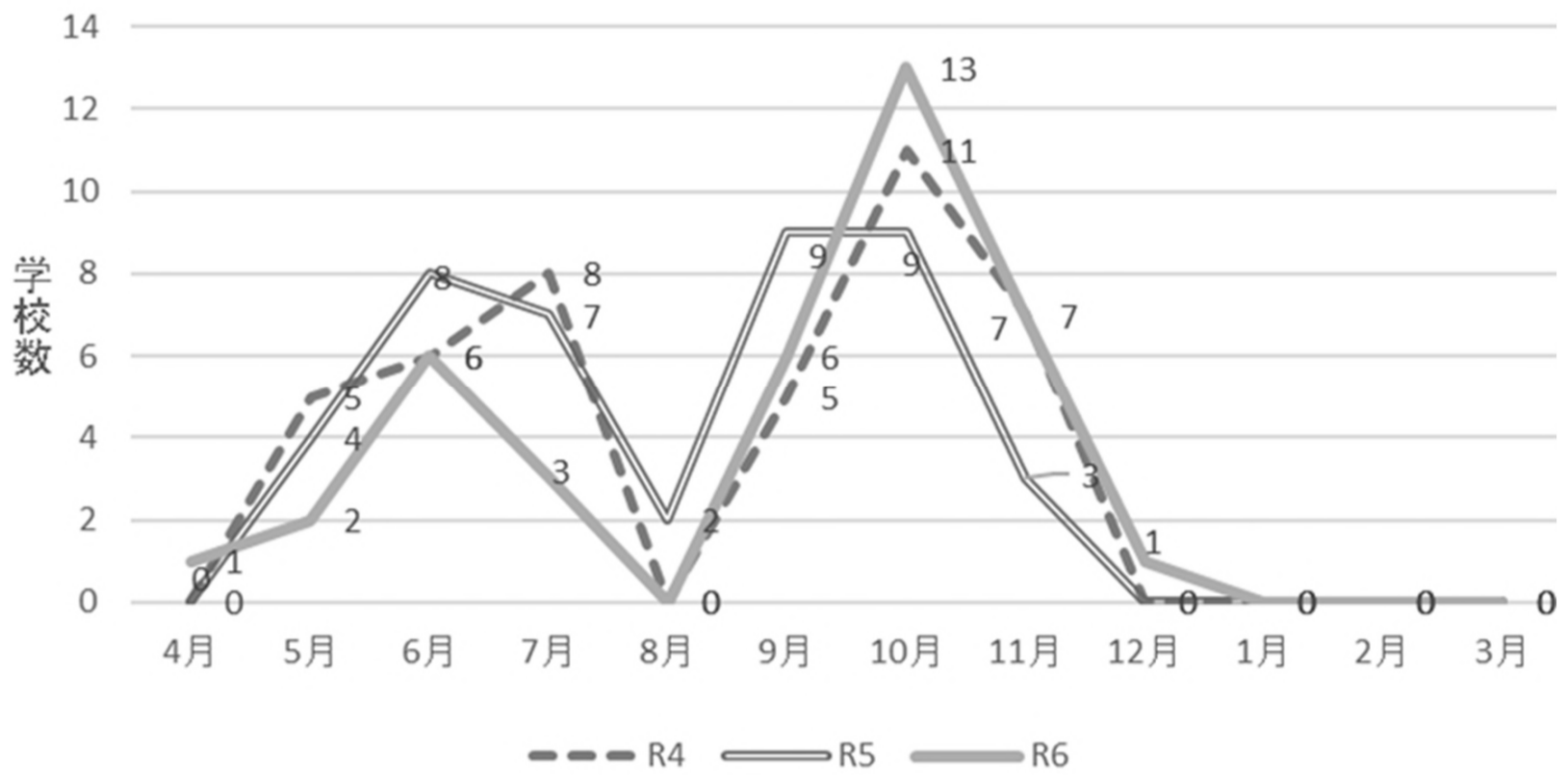
① 入館者数の内訳と推移

年度	一般			学校関係							平日の 来館者	休日の 来館者	総計
	団体	個人	小計	小学校		中学校		高等学校		小計			
				人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数				
8	607	3,360	3,967								1,133	2,834	3,967
9	1,490	6,712	8,202	1,177	17	172	3	91	1	1,440	3,768	5,874	9,642
10	1,336	5,801	7,137	1,350	22	444	7	75	1	1,869	4,107	4,899	9,006
11	782	2,715	3,497	2,325	30	202	5	143	4	2,670	4,285	1,882	6,167
12	553	2,734	3,287	2,598	38	426	10	0	0	3,024	3,974	2,337	6,311
13	583	2,482	3,065	2,864	39	493	13	0	0	3,357	4,498	1,924	6,422
14	418	2,776	3,194	2,964	48	350	10	50	2	3,364	4,253	2,295	6,548
15	627	2,923	3,550	2,677	44	139	7	118	3	2,934	4,247	2,237	6,484
16	622	2,833	3,455	3,126	45	97	7	0	0	3,223	4,597	2,081	6,678
17	887	3,172	4,059	2,793	48	212	8	20	1	3,025	4,868	2,216	7,084
18	1,082	2,989	4,071	3,063	46	28	4	16	1	3,107	4,928	2,250	7,178
19	1,031	3,386	4,417	3,170	53	80	8	100	1	3,350	5,323	2,445	7,768
20	626	3,365	3,991	3,435	46	84	7	0	0	3,519	5,285	2,225	7,510
21	549	3,817	4,366	2,768	43	91	8	30	2	2,889	4,694	2,561	7,255
22	501	3,503	4,004	2,565	43	277	6	6	2	2,848	4,564	2,288	6,852
23	969	2,958	3,927	2,216	33	452	14	29	2	2,697	4,242	2,382	6,624
24	839	3,693	4,532	1,688	27	574	17	0	0	2,262	3,925	2,869	6,794
25	2,702	2,101	4,803	1,593	24	264	2	50	2	1,907	3,600	3,113	6,713
26	1,386	3,934	5,320	1,559	24	40	3	0	0	1,599	3,368	3,551	6,919
27	1,190	4,033	5,223	1,740	30	34	3	0	0	1,774	3,515	3,482	6,997
28	1,126	4,376	5,502	1,926	30	30	5	42	2	1,998	3,757	3,743	7,500
29	1,182	11,315	12,497	2,195	34	269	8	0	0	2,464	9,574	5,387	14,961
30	1,722	12,637	14,359	2,586	42	42	6	16	1	2,644	10,144	6,859	17,003
1	2,920	12,209	15,129	2,431	34	50	8	0	0	2,481	9,395	8,185	17,610
2	453	12,283	12,736	1,496	25	20	3	2	1	1,518	9,379	4,875	14,254
3	810	13,235	14,045	2,420	35	101	5	36	1	2,557	10,134	6,458	16,602
4	670	13,836	14,506	2,621	38	36	4	0	0	2,657	10,741	6,422	17,163
5	1,209	12,613	13,822	2,638	38	57	3	12	1	2,707	10,821	5,708	16,529
6	951	13,062	14,013	2,512	36	6	2	35	1	2,553	11,029	5,537	16,566
累計	29,823	174,853	204,676	66,496	1,012	5,070	186	871	29	72,437	168,148	108,919	260,541

② 学校教育での利用



校外学習実施校数の推移



月別実施校数（過去3年間）

③ 展示内容

a 企画展示コーナー

1 企画展1 「キラキラ☆施釉陶磁器の世界」

○会 期 令和6年4月20日(土)～11月24日(日)

○展示遺跡 阿賀野市山口遺跡、長岡市八幡林遺跡・十楽寺白山神社経塚、新潟市近世新潟町跡・上浦遺跡、上越市子安遺跡・五反田遺跡、柏崎市箕輪遺跡、胎内市江上館跡、佐渡市堂山遺跡 等

2 企画展2 「発掘！新潟の遺跡2024」

○会 期 令和7年1月18日(土)～3月20日(木・祝)

○展示遺跡 村上市上野遺跡、南魚沼市金屋遺跡・六日町藤塚遺跡、柏崎市丘江遺跡・山崎遺跡、上越市舘遺跡・堂古遺跡・二反割遺跡

b 常設展示コーナー

旧石器時代～近世までの県内出土遺物を時代別またはテーマ別に展示し、新潟県の歴史を概観できるようにしている。

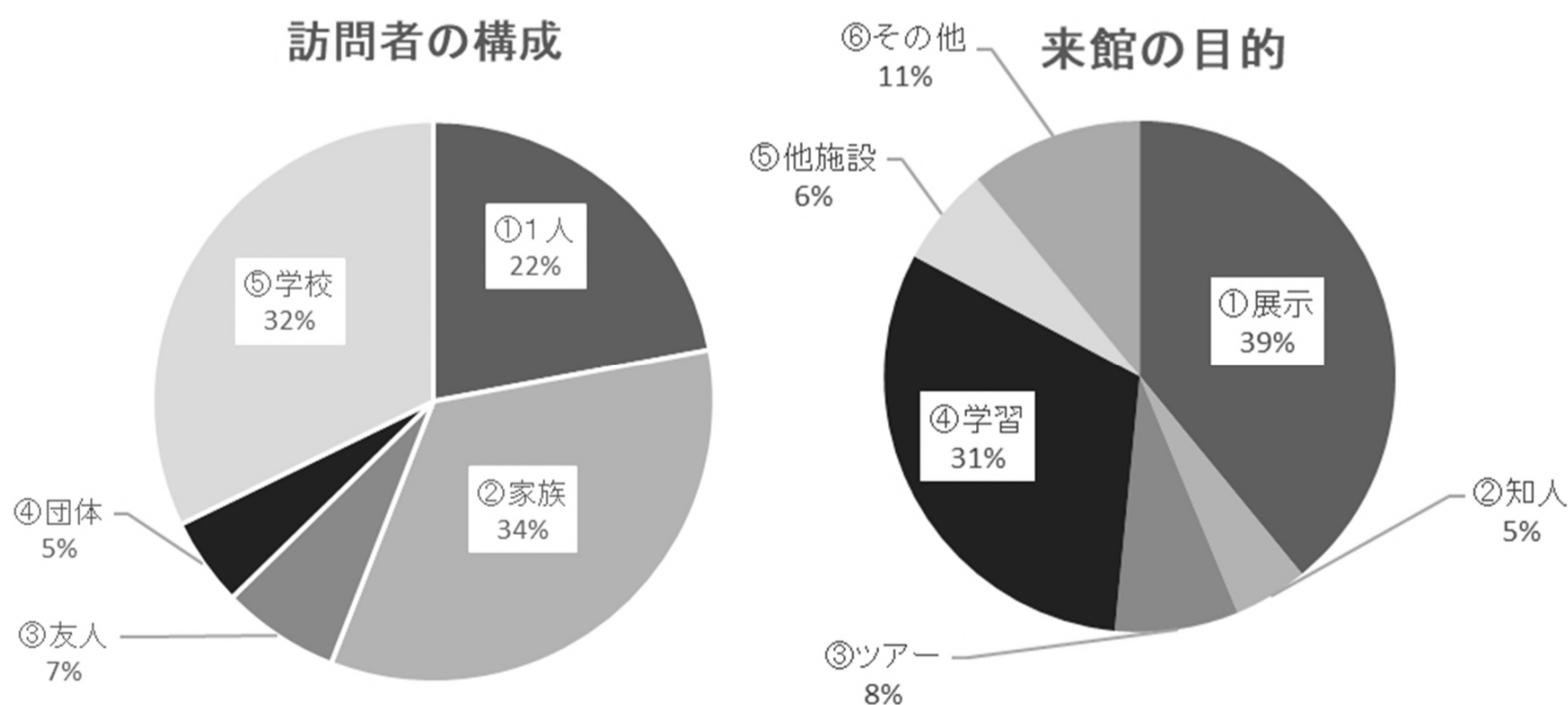
④ 来館者アンケート

年間のアンケートを集計した結果、主要な項目において次の通りとなった。

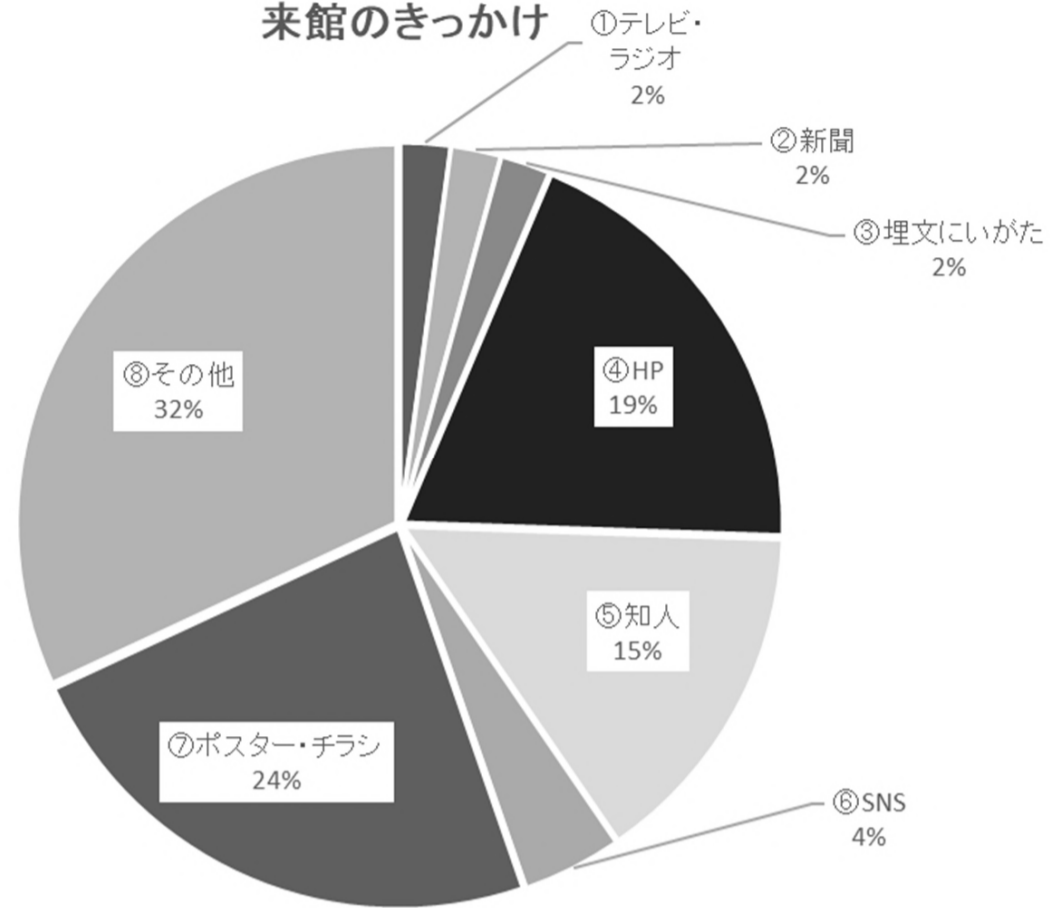
訪問者の構成は「家族」が最も多く、来館目的は「展示」の見学が最も多い。来館のきっかけは「その他」が多く、歴史に興味を持つ子どものためや、HP やパンフレット、周辺の散策が契機となつての来館もあった。

展示内容・説明については、「よくわかる」「わかる」が10割を占め、再訪問の希望も「非常に思う」「思う」で約9割となっている。展示については高く評価されていることがわかる。

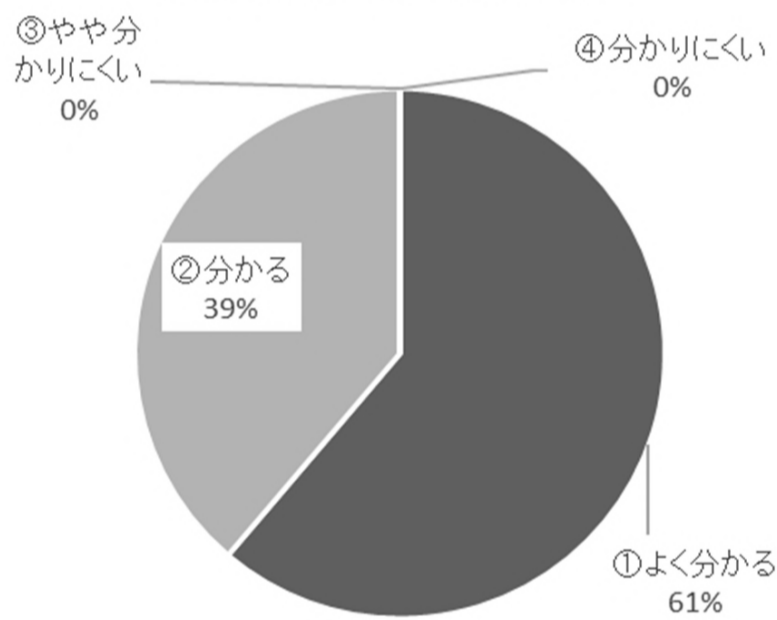
来館者アンケートグラフ



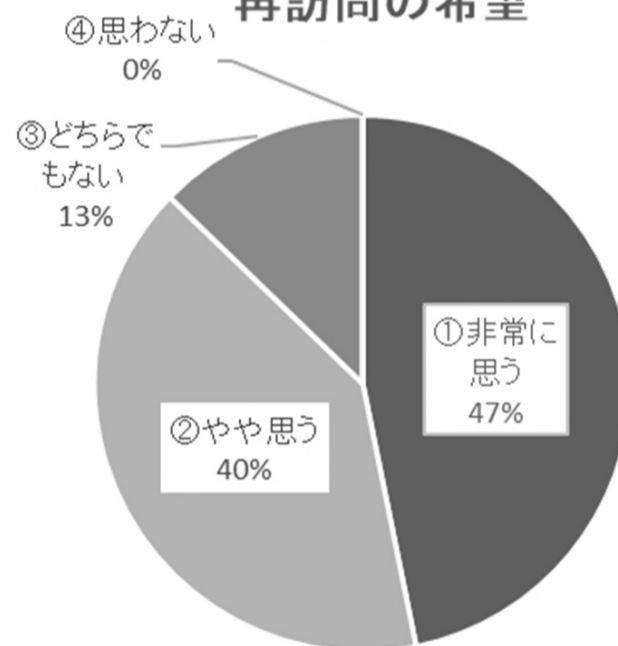
来館のきっかけ



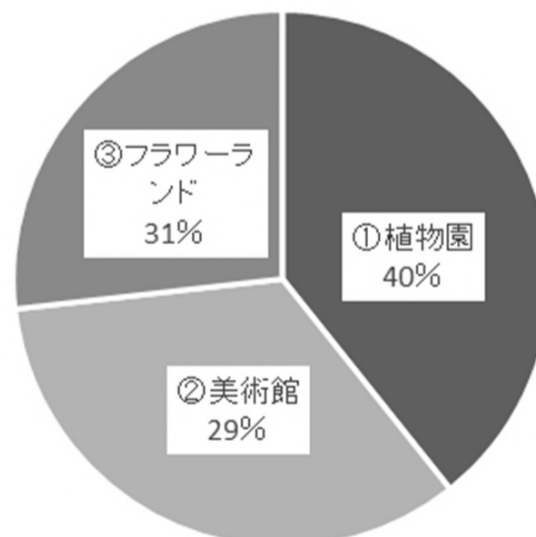
展示内容・展示品の説明



再訪問の希望



周辺施設への訪問



(6) 埋蔵文化財等の貸出

No.	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
1	貸出	令和6年3月29日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第55集 清水上遺跡 土器 4点 第72集 清水上遺跡2土器 6点 合計10点	魚沼市中央公民館（堀之内公民館）ロビーで常設展示	令和5年度の発番であるが貸出開始が令和6年度のため掲載 令和6年3月28日 魚生第605号
2	掲載	令和6年4月16日	岩手県立博物館 館長 高橋 廣至	五丁歩遺跡脚付土器写真 1点	岩手県立博物館令和6年度テーマ展「ふしぎな縄文」併設「縄文美術館写真パネル展」で公開するため	令和6年4月12日 岩博第12号
3	掲載	令和6年4月17日	株式会社敬文舎 代表 柳町 敬直	第271集 六反田南遺跡6本文編口絵1 第133集 青田遺跡 関連科学・写真図版編の写真3点	安斎正人『縄文を訪ねる(仮)』の中で使用するため。	令和6年4月15日
4	閲覧・撮影・掲載	令和6年4月26日	山から株式会社 代表取締役 柳沼 陽介	上野遺跡出土土偶(報告書未刊行)	「新潟・下越 じわじわくる土偶カルタ(仮)」の絵札、ヨ読み札、説明書、パッケージ及び販売促進広告に使用するため。	令和6年4月22日
5	貸出	令和6年6月17日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第24集 権現平遺跡 第31集 瓜ヶ沢遺跡 掲載石器28点	魚沼市文化財展示室での常設展示のため	令和6年6月4日 魚生第125号
6	貸出・使用	令和6年6月17日	新潟大学人文社会科学系 助教 青木 要祐	第56集 岩原I遺跡 第73集 上ノ平遺跡C地点 第75集 大堀遺跡 第121集 円山遺跡 第151集 蛇谷遺跡 第155集 金屋遺跡 掲載石器10点	黒曜石製石器の原産地分析および記録写真撮影・計測・蛍光X線分析(非破壊)のため	令和6年6月13日 新大考001号
7	掲載	令和6年6月27日	富山市考古資料館 館長 澤 昌芳	第152集 下馬場遺跡・細田遺跡 掲載写真4点	富山市考古資料館企画展「打出遺跡と弥生時代の鉄器づくり」の展示パネルおよび解説図録に掲載するため	令和6年6月20日 考第5号
8	掲載	令和6年7月19日	新潟県観光文化スポーツ部文化課 文化資源活用推進係長	まいぶんちゃん イラスト3点	「新潟県文化祭2024イベントガイド」で登場させるため	令和6年7月18日 文第636号
9	掲載	令和6年7月30日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	2019年度企画展「海をわたったヒスイ」図録 第98集 平田遺跡 第133集 青田遺跡(写真図版編) 第141集 北野遺跡II 第215集 山口遺跡 第220集 南押上遺跡 第249集 大武遺跡II 第271集 六反田南遺跡(本文編) 第287集 余川中道遺跡III 掲載写真35点	令和6年度中央4県山の洲文化財交流事業「珠玉の国 新潟」においてチラシ・HPなど広報、展示解説パネル、関連講座資料等に掲載するため	令和6年7月24日 歴博第136号
10	貸出	令和6年8月19日	長者ヶ原考古館 館長 嵐口 守	第249集 大武遺跡II 勾玉工程品、擦切具、敲石 計15点	特別展『糸魚川を旅立ったヒスイ』で展示するため	令和6年8月6日 教文第259号
11	貸出	令和6年8月8日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	第60集 一之口遺跡東地区 第72集 清水上遺跡II 第133集 青田遺跡 第139集 余川中道遺跡 第141集 北野遺跡 第215集 山口遺跡 第220集 南押上遺跡 第249集 大武遺跡II 第271集 六反田南遺跡 第287集 余川仲一遺跡III 掲載資料122点	令和6年度中央4県文化財交流事業『珠玉の国 新潟』で展示するため	令和6年8月1日 歴博第140号-1
12	貸出	令和6年8月19日	新潟市文化財センター 所長 村山 明	第55集 清水上遺跡 第133集 青田遺跡 第136集 道灌遺跡 第189集 寺前遺跡 第271集 六反田南遺跡VI 掲載資料32点	令和6年度企画展「水田下に沈んだ縄文時代の遺跡」で展示するため	令和6年7月5日 新文セ第153号
13	貸出	令和6年8月27日	長岡市立科学博物館 館長 金垣 孝二	第233集 川久保遺跡 縄文土器 7点	令和6年度特別展「馬高式土器から榎倉式土器へ」で展示するため	令和6年8月19日 長教博第148号
14	掲載	令和6年8月27日	長岡市立科学博物館 館長 金垣 孝二	第233集 川久保遺跡 報告書掲載写真2点	令和6年度長岡市馬高縄文館秋季特別展「馬高式土器から榎倉式土器へ」の展示パネル・リーフレットに掲載するため	令和6年8月19日 長教博第149号
15	貸出	令和6年9月11日	花巻市博物館 館長 中村 良幸	第133集 青田遺跡 第249集 大武遺跡 木製品・石器写真計3点	・令和6年度花巻市博物館開館20周年特別展「縄文ワールドー写真家・小川忠博の世界ー」に展示するため ・同企画展の広報(HP・SNS等を含む)に利用するため	令和6年9月9日 6花教博第30-25号
16	掲載	令和6年10月9日	新潟医療福祉大学 教授 奈良 貴史	村上市上野遺跡出土焼人骨集積土坑の分析内容及び経過	第78回日本人類学会大会での一般ポスター発表のため	令和6年10月3日
17	掲載	令和6年10月28日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第72集 清水上遺跡II 図版1点	魚沼市歴史博物館(仮称)常設展示の展示パネルとして使用するため	令和6年10月15日 魚生第280号

No.	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
18	掲載	令和6年10月21日	株式会社NHKエデュケーショナル コンテンツ制作開発センター 教育グループ 統括部長 富田 満	北野遺跡出土 ヒスイ大珠写真1点	放送大学授業番組『ジオストーリー`25』第7回「石で読みとく」ジオストーリー1 担当講師 宮下敦(成蹊大学教授)で紹介するため	令和6年10月15日
19	掲載	令和6年10月28日	燕市教育委員会社会教育課長 石黒 昭彦	新潟県埋蔵文化財センターHP掲載写真2点	新分水良寛資料館基本構想内で収蔵展示ができる施設の例として紹介するため	令和6年10月24日 燕社教第1101号
20	掲載	令和6年11月14日	木簡学会 会長 吉川 真司	第295集 宮林B遺跡 ササラ西遺跡 丘江遺跡 第11次調査出土木製塔婆 実測図2点、写真4点	『木簡研究』46号(木簡学会)の中の「新潟・丘江遺跡」「新潟・ササラ西遺跡」(土橋由理子氏文章)の参考資料とするため	令和6年11月12日
21	掲載	令和6年12月17日	(一財)放送大学教育振興会 出版部長 古賀 千早	魚沼市清水上遺跡出土ヒスイ原石 小千谷市城之腰遺跡出土ヒスイ製垂 玉 写真2点	放送大学印刷教材『ジオストーリー』内でひすい輝石岩の利用の変遷説明のため	令和6年12月4日
22	貸出	令和6年12月23日	津南町教育委員会 教育長 島田 敏夫	第78集 百塚西C遺跡 掲載石器1点	津南町埋蔵文化財センターにて展示予定のレプリカ制作のため	令和6年12月17日 教委第1899号
23	使用	令和7年1月7日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	第56集 岩原I遺跡 第56集 上林塚遺跡 第90集 関川谷内遺跡I 第124集 関川谷内遺跡II 土器計31点	土器の付着炭化物を試料とした年代測定及び炭素素同位体分析試料の写真撮影及び付着炭化物の採取のため	令和6年12月19日 歴博第258号
24	掲載	令和7年1月7日	縄文の里朝日 館長 河崎 昭一	第141集 北野遺跡II 石棒7点の写 真・3Dデータ	縄文の里・朝日 春の企画展『石棒という縄文』での展示及び企画展広報、企画展展示図録、HP・SNS(X・Facebook・note)に掲載するため	令和6年12月24日
25	掲載	令和7年1月24日	株式会社ジャパン通信情報セン ター代表 「文化財発掘出土情報」編集長 芹澤 幹太 様	令和6年度丘江遺跡現地説明会資料 掲載写真13点	「文化財発掘出土情報」2025年2月号～3月号〔各地の動向〕に掲載し紹介するため	令和7年1月9日
26	掲載	令和7年2月6日	荒川 隆史	第249集 大武遺跡II 図版1点	『國學院大學博物館研究報告』2025に申請者が投稿する論文に掲載するため	令和7年2月3日
27	貸出	令和7年2月6日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	第29集 城之腰遺跡 第55集 清水上遺跡 第60集 一之口遺跡東地区 第72集 清水上遺跡II 第78集 堂付遺跡 第84集 中ノ沢遺跡 第92集 金塚遺跡 第92集 三仏生遺跡 第133集 青田遺跡 計7169点	常設展示室「新潟県のあゆみ」 「縄文文化を語る」に展示	令和7年2月1日 歴博第293号
28	貸出	令和7年2月14日	阿賀町教育委員会 教育長 遠藤 佐	第73集 上ノ平遺跡C地点 16点 第132集 吉ヶ沢遺跡B地点 10点	阿賀町郷土資料館常設展示(旧石器時代展示コーナー)で展示するため	令和7年2月4日 阿教社第6号
29	貸出	令和7年2月14日	長者ヶ原考古館 館長 風口 守	第133集 青田遺跡 第141集 北野遺跡II 第215集 山口遺跡 第249集 大武遺跡II 第271集 六反田南遺跡VI ヒスイ 計15点	ヒスイ表面に残された加熱の痕跡と思われる箇所について走査電子顕微鏡を用いた蛍光X線分析をおこなうため	令和7年2月10日 教文第520号
30	貸出	令和7年2月28日	聖籠町教育委員会 教育長 近藤 朗	第53集 山三賀II遺跡 掲載・未掲 載遺物計10点	山三賀集落公会堂で地域の文化財資料として展示するため	令和7年2月21日 聖社第312号の2
31	貸出	令和7年3月3日	柏崎市教育委員会 博物館長 西巻 隆博	第125集 石鍋1点	柏崎市立博物館の常設展示で展示するため	令和7年2月26日 博第283号
32	貸出	令和7年3月4日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第24集 権現平遺跡 石器23点 第31集 瓜ヶ沢遺跡 石器5点	魚沼市旧広神庁舎に開設する魚沼市文化財展示室にて常設展示するため	令和7年2月27日 魚生第452号1
33	貸出	令和7年3月5日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第72集 清水上遺跡II 土器2点	魚沼市旧広神庁舎に開設する魚沼市文化財展示室にて常設展示するため	令和7年3月3日 魚生第461号1
34	貸出	令和7年3月7日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第55集 清水上遺跡 土器4点 第72集 清水上遺跡II 土器4点	魚沼市中央公民館(堀之内公民館)にて常設展示するため	令和7年3月3日 魚生第462号1
35	貸出	令和7年3月10日	南魚沼市教育委員会 教育長 岡村 秀康	第37集 金屋遺跡 土器22点、石製 品2点、土製品1点 第43週 長表遺跡 土器15点	南魚沼市民会館(歴史民俗資料展示室)にて展示するため	令和7年3月3日 南魚社教第599号
36	掲載	令和7年3月14日	株式会社ABCアーク 代表取締役社長 園部 充	第133集 青田遺跡 写真図版1点	月刊『歴史人』2025年5月号「縄文の謎100」(仮)内の文章の参考資料とするため	令和7年3月13日
37	貸出	令和7年3月18日	兵庫陶芸美術館 館長 西垣 鉄也	第72集 清水上遺跡II 掲載外土器 片20点	実施するワークショップ、社会科授業等の教材として	令和6年3月12日
38	掲載	令和7年3月18日	株式会社世界文化社 富岡 啓子	延命寺遺跡・一之口遺跡・野中土手 付遺跡 出土火鑽臼・火鑽杵	『古事記の博物図鑑』(世界文化社)の中の文章の参考とするため	令和7年3月17日

3 分布・試掘確認調査事業

(1) 概要

令和6年度は分布調査を2件（第1表）、試掘・確認調査を9件、10か所で実施した（第2表）。

第1表 分布調査一覧

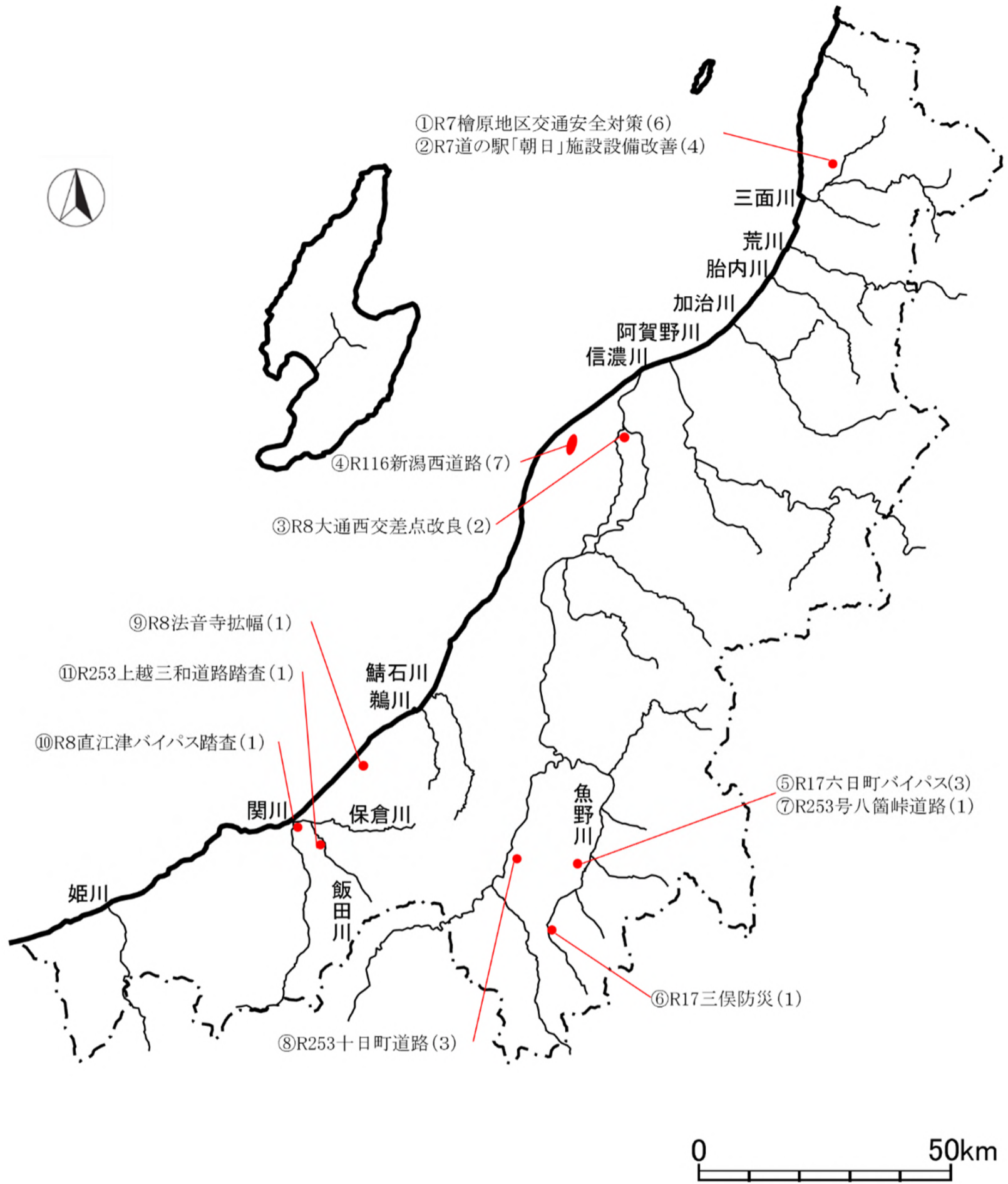
事業者	調査種別	事業名	位置番号	所在地・地区名	調査期間	備考	
国土交通省	高田河川	踏査	⑩	国道8号直江津バイパス(尾神遺跡)	上越市安江	9月27日	工事現場に立ち会い、必要な協議資料を記録した。
		踏査	⑪	国道253号線上越三和道路(下割遺跡)	上越市米岡	12月11日	工事現場に立ち会い、必要な協議資料を記録した。

第2表 試掘確認調査一覧

事業者	調査種別	事業名	位置番号	所在地・地区名	調査期間	調査		
						実績面積(m ²)	調査面積(m ²)	
国土交通省	羽越河川	試掘	①	国道7号檜原地区交通安全対策	村上市檜原	8月20～23日 11月19日～21日	3,010	37.73
		試掘	②	道の駅「朝日」施設設備改善	村上市猿沢	9月30日・10月1日～3日	9,430	245.96
		実施：2件2か所					小計	12,440
	新潟国道	試掘	③	国道8号大通西交差点改良	新潟市南区大通	12月9日・10日	2,463	43
		試掘	④	国道116号新潟西道路	新潟市西区保古野木・小瀬	6月20日・21日・24日 11月26日～29日	21,641	291.95
		実施：2件3か所					小計	24,104
	長岡国道	確認	⑤	国道17号六日町バイパス(余川中道遺跡)	南魚沼市余川	10月23日～25日	—	138.89
		試掘	⑥	国道17号三俣防災	湯沢町八木沢	9月26日	360	4.5
		試掘	⑦	国道253号八箇峠道路	南魚沼市余川	5月29日	270	30
		試掘	⑧	国道253号十日町道路	十日町伊達甲	10月28日～30日	12052	194.25
		実施：4件4か所					小計	12,682
	高田河川	試掘	⑨	国道8号法音寺拡幅	上越市柿崎区法音寺	8月1日	955	34.56
		実施：1件1か所					小計	955
	実施：9件10か所					合計	50,181	1021

※「実績」は未買収地等を除く実質対象面積を示す。

(2) 調査位置図



試掘確認調査位置図
 (数字は第2表の所在地・地区名の番号と対応)